

事業評価調書

◎基本情報

| | | | | | | |
|-------------|--|--|--|---|-------|----------|
| 年度 | 令和3年 | 会計コード | 10 | 一般 | 事業コード | 22986 |
| 事業名 | 資源物リサイクル事業費 | | | | | |
| 評価担当課 | 所属名 | 環)環境事業部 循環型社会推進 | | | | |
| | 課長名 | 岡本 俊幸 | 担当者名 | 中塚 暁・佐藤 真広 | 電話番号 | 211-2928 |
| 施策名 | 主 | - | | | | |
| | 副 | | | | | |
| アクションプラン | <input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外 | | 戦略ビジョン | <input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外 | | |
| 事業の性質 | <input checked="" type="radio"/> 経常経費 <input type="radio"/> 臨時的経費 | | | | | |
| | <input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 法定経費 <input type="radio"/> 指定管理 | | | | | |
| 事業内容 | 実施形態 | <input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input checked="" type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助助成 <input type="radio"/> その他 | | | | |
| | 目的 | 短期 | 収集したびん・缶・ペットボトル及びプラスチック製容器包装を適切に再資源化するため | | | |
| | | 長期 | 一般廃棄物の減量及び資源の有効利用を図るため | | | |
| | 取組内容 | ①本市が分別収集したびん・缶・ペットボトルの選別業務を実施する ②選別したびん・ペットボトル及びプラスチック製容器包装を、指定法人を通じて再商品化事業者へ引き渡す ③選別した缶を再資源化事業者へ売却する | | | | |
| | 実施結果 | ①びん・缶・ペットボトル選別量:35,429t ②びん引渡量:9,653t、ペットボトル引渡量:8,621t、容プラ引渡量:27,897t ③アルミ缶売却量:4,328t、スチール缶売却量:2,110t、売却収入:733,036千円 | | | | |
| 事業実施における工夫点 | ・缶を一般競争入札により売却することで、競争性と透明性を確保している。 ・びん・ペットボトル及びプラスチック製容器包装については、指定法人に全量引渡すことで、安定的な再資源化を実施している。 | | | | | |
| 対象者 | 市民 | 開始 | 平成10年度 | 終了 | 0年度 | |
| 関連法令・条例・要綱等 | 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法) | | | | | |
| 他都市の状況 | 容器包装リサイクル法に基づく分別収集を行っている多くの市町村では同様の業務を実施している。 | | | | | |

◎事業費

(単位:千円)

| | 令和2年度決算 | 令和3年度予算 | 令和3年度決算 | 令和4年度予算 | |
|------------|---------|--|---------|---------|--|
| 事業費 | 888,747 | 917,147 | 893,479 | 922,739 | |
| うち特定財源 | 630,061 | 555,019 | 837,621 | 735,714 | |
| 人工 | 0.5 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | |
| 人件費 | 3,600 | 2,880 | 2,880 | 2,880 | |
| 計(事業費+人件費) | 892,347 | 920,027 | 896,359 | 925,619 | |
| 事業費の内訳 | 令和3年度決算 | びん・缶・ペットボトル選別業務869,000千円 再商品化業務(びん)8,829千円、(プラスチック)15,650千円 ※ペットボトルは製造メーカー等特定事業者が全額負担 | | | |
| | 令和4年度予算 | びん・缶・ペットボトル選別業務894,569千円 再商品化業務(びん)11,439千円、(プラスチック)16,731千円 ※ペットボトルは製造メーカー等特定事業者が全額負担 | | | |

◎検証(振り返り)

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|-----------------|-----------|---|
| 活動指標1 | 指標名 | びん・缶・ペットボトル選別処理量(t) | | | |
| | 令和2年度実績 | 令和3年度予定 | 令和3年度実績 | 令和4年度予定 | |
| | 35,583 | 34,200 | 35,429 | 34,400 | |
| 活動指標2 | 指標名 | びん・ペットボトル及びプラ製容器包装再商品化量(t) | | | |
| | 令和2年度実績 | 令和3年度予定 | 令和3年度実績 | 令和4年度予定 | |
| | 48,209 | 46,334 | 47,170 | 47,413 | |
| 成果指標1 | 指標名 | ペットボトル品質評価 | | | |
| | 令和2年度実績 | 令和3年度目標 | 令和3年度実績 | 令和4年度目標 | |
| | 中沼:A、駒岡:A | 中沼:A、駒岡:A | 中沼:A、駒岡:A | 中沼:A、駒岡:A | |
| 成果指標2 | 指標名 | | | | |
| | 令和2年度実績 | 令和3年度目標 | 令和3年度実績 | 令和4年度目標 | |
| | | | | | |
| 項目 | 判定 | 理由 | | | |
| 事業の成果 (目的をどの程度達成できたか) | A | <p>・処理量:分別収集したびん・缶・ペットボトルの全量を選別処理し、選別後の各品目について、指定法人を通じて、または一般競争入札により、全量を再商品化(再資源化)事業者へ引き渡しを行った。</p> <p>・品質評価:ペットボトルの品質調査において、再商品化に差し支えがないAランク判定となっており、適切な選別及び引渡しを実施できている。</p> | | | |
| 事業規模 (事業ボリュームは適切か) | A | 選別・圧縮・梱包・保管の一連の作業が滞りなく遂行され、円滑に再資源化事業者への引渡しが行われていることから、事業規模は適切である。 | | | |
| 事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か) | A | <p>選別業務については、選別・圧縮・梱包・保管の一連の作業を、札幌市内の施設において実施することにより、効率的に事業を遂行できている。</p> <p>缶については売却することで歳入の確保につながっており、びん・ペットボトル及びプラスチック製容器包装については、指定法人を通じた引渡しにより安定的な再資源化を実現できていることから、事業の実施手法は適切である。</p> | | | |
| 対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか) | A | 市民が資源物として排出したびん・缶・ペットボトルの全量を選別処理し、選別したびん・缶・ペットボトル及びプラスチック製容器包装を、それぞれ再資源化可能な事業者へ引渡しを行っていることから、対象者である市民のニーズに応えている。 | | | |
| 市民参加の実施 | <input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 | | 市民参加結果への対応 | | <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映 |
| 今後の改善点 | 現状では、適切な規模及び実施方法により十分な成果が上げられ、対象者のニーズにも応えられているが、選別施設やリサイクル工場で発煙・発火の原因となる加熱式・電子たばこやモバイルバッテリーなどリチウムイオン電池を内蔵した製品の容器包装プラスチックへの混入が増加していることから、適切な分別を促すための周知啓発が必要である。 | | | | |
| 前回の評価 | ● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし | | | | |
| 今年度取り組んだ見直し内容 | ホームページの改善(リチウムイオン電池内蔵製品の混入防止)や普及啓発の強化(SNSによる発信やチラシ配布等)の実施を予定 | | 見直し効果額 (前年度) | 0 | 千円 |
| 今回の評価 | ● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし | | | | |
| 評価の理由 | びん・缶・ペットボトルの選別及び選別した各品目の再資源化事業者への引渡しとも適切に実施できているため。 | | | | |
| 次年度の取組の方向性・改善内容 | 事業内容 | ● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 引き続き資源物の適切な選別及び引渡しを実施するとともに、リチウムイオン電池内蔵製品等の混入防止に向けた周知啓発や対策の検討を行っていく。 | | | |
| | 予算 | ○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 | | 見直し効果額 | 0 千円 |
| | | 収集量等に応じた適切な予算措置を行う。 | | | |